

## 811 聖書に登場する「山」

### ▲アララト山

トルコ共和国の東端にある標高 5,137m の山であり成層火山で、左（主峰の東南にあたる標高 3,896m の頂上）を「小アララト山」、右（標高 5,137m の主峰）を「大アララト山」と呼んでいる。  
→創世記 8 : 4（第七の月の十七日に箱舟はアララト山の上に止まった）のみに登場する。



出典：(左写真) ウィキペディア「アララト山」(左：小アララト山、右：大アララト山) / (右地図) 世界史の窓

### ▲シナイ山 (=ホレブ山)

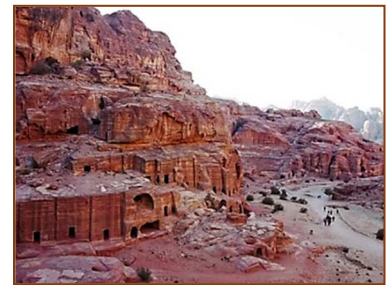
シナイ半島にあり、モーセが神から十戒を授かった（出エジプト記 31 : 38）とされる場所である。  
標高： 2,285 m。ホレブ山 (Horeb) とも呼ばれる。

→参照：PDF ファイル No.813 シナイ山(解説) / 814 シナイの山(ネヘミヤ記 9 : 13) / 815 シナイ山

### ▲ホル山 (=ハルーン山)

ヨルダン南西部マアーンの北西、ムーサ涸れ川（ワディ）の西方 8km にある標高 1,331m の山（頂が二つある赤い砂岩の山）。北東斜面に世界遺産 ペトラ遺跡（バラ色の都市ペトラ）がある。モーセの兄アロンがその頂で 123 年の生涯を終えた山である（民数記 33 : 38～39）。

歴史家ヨセフス、「ユダヤ古代誌」によれば、ホル山はエドム人の都市ペトラを取り巻く高い山々の一つであった。伝承では「ジェベル・ハルーン」（「アロンの山」の意）と結び付けられている。



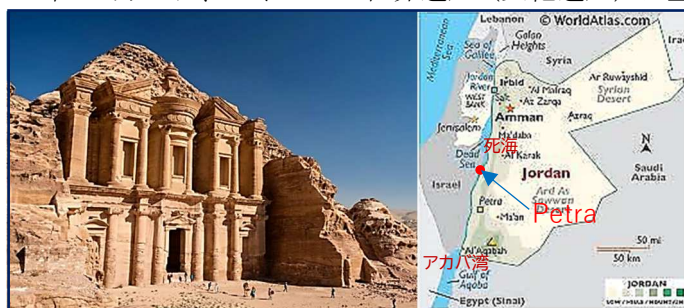
タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 12 / 聖句等の総数 33250 (ホル山)12個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ホル山]
K 民数記	20:22 イスラエルの人々、その共同体全体はカデシュを旅立って、ホル山に着いた。	
K 民数記	20:23 ホル山はエドム領との国境にあり、ここで、主はモーセとアロンに言われた。	
K 民数記	20:25 アロンとその子エルアザルを連れてホル山に登り、	
K 民数記	20:27 モーセは主が命じられたとおりにした。彼らは、共同体全体の見守る中をホル山に登った。	
K 民数記	21:4 彼らはホル山を旅立ち、エドムの領土を迂回し、葦の海の道を通って行った。しかし、民は途中で耐えきれなくなつて、	
K 民数記	33:37 彼らはカデシュを出発して、エドムの国の端にあるホル山に宿営した。	
K 民数記	33:38 祭司アロンは、主の命令によってホル山に登り、そこで死んだ。イスラエルの人々がエジプトの国を出て第四十年の第五の月の一日であった。	

K	民数記	33:39 ホル山で死んだとき、アロンは百二十三歳であった。
K	民数記	33:41 イスラエルの人々はホル山を出発して、ツアルモナに宿営し、
K	民数記	34:7 北境は次のとおりである。大海からホル山まで線を引き、
K	民数記	34:8 更に、ホル山からレボ・ハマトに線を引いて、ツェダドの境に達する。
K	申命記	32:50 あなたは登って行くその山で死に、先祖の列に加えられる。兄弟アロンがホル山で死に、先祖の列に加えられたように。

### 【参考】ペトラ遺跡

ヨルダンにある遺跡で、死海とアカバ湾の間（死海から約 80km 南）にある渓谷にある。ペトラとは、ギリシア語で「崖」を意味する。1985 年 12 月 6 日、ユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録された。

2000 年以上前にこの地に定住したアラブ人の一族ナバテア人は、切り立つ岩壁を削り、この大都市を造った。ナバテア人は、BC3 世紀頃に突然現れた遊牧民族で、ナバテアとは「水を掘る人」を意味するアラム語である。降雨量の少ない砂漠地帯に水槽の技術を持ち、平和を志向した。

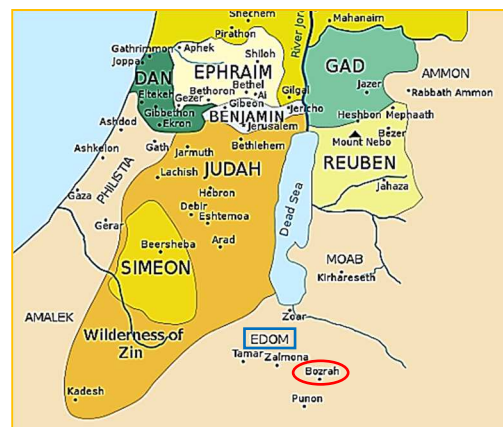


戦いの場においても、敵を砂漠に誘い込み、困窮した相手に水の提供を申し出て、休戦へと持ち込んだ。ペトラはかつて、商業や交通の要地として栄え、古代東方文化とヘレニズム文化との融合が見られる建造物や彫刻が多く存在している。

また、聖書に登場する「ボツラ Bozrah」とはエドムの主要都市で、ギリシア語は「ペトラ」です。

ミカ書 2：12～13 復興の預言→文語訳では「**ボヅラの羊**」  
**新共同訳** ヤコブよ、わたしはお前たちすべてを集め／イスラエルの残りの者を呼び寄せる。わたしは彼らを**羊**のように囲いの中に／群れのように、牧場に導いてひとつにする。彼らは人々と共にざわめく。打ち破る者が、彼らに先立って上ると／他の者も打ち破って、門を通り、外に出る。彼らの王が彼らに先立って進み／主がその先頭に立たれる。

**文語訳** ヤコブよ我かならず汝をことごとく集へ 必ずイスラエルの遺餘者を聚めん 而して我之を同一に置いて**ボヅラ**の羊のごとく成しめん 彼らは人数衆きによりて牧場の中なる群のごとくにその聲をたてん。打破者かれらに先だちて登彼ら遂に門を打敗り之を通りて出ゆかん 彼らの王その前にたちて進みエホバその首に立たまふべし。

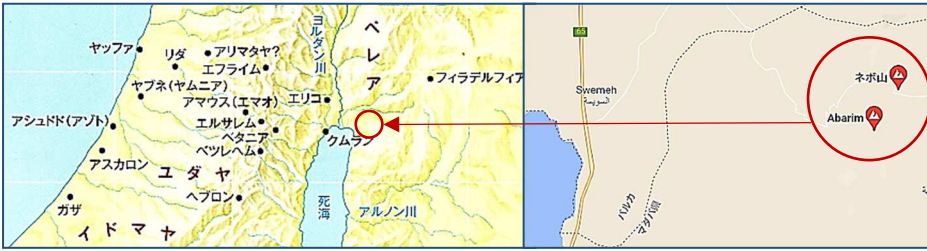


### ▲エフロン山、▲エアリム山

エフロン山は、ヨシュア記 15：9（この山の頂から下って、ネフトアの泉、エフロン山の廃虚を経て、バアラすなわちキルヤト・エアリムに折れ）、

エアリム山は、ヨシュア記 15：10（そこを西に曲がってセイルの山に向かい、更に**エアリム山**すなわちケサロンの北斜面を経て、ベト・シメシュに下る。更にティムナ、）のみに登場する。

▲アバリム山（山地）Abarim

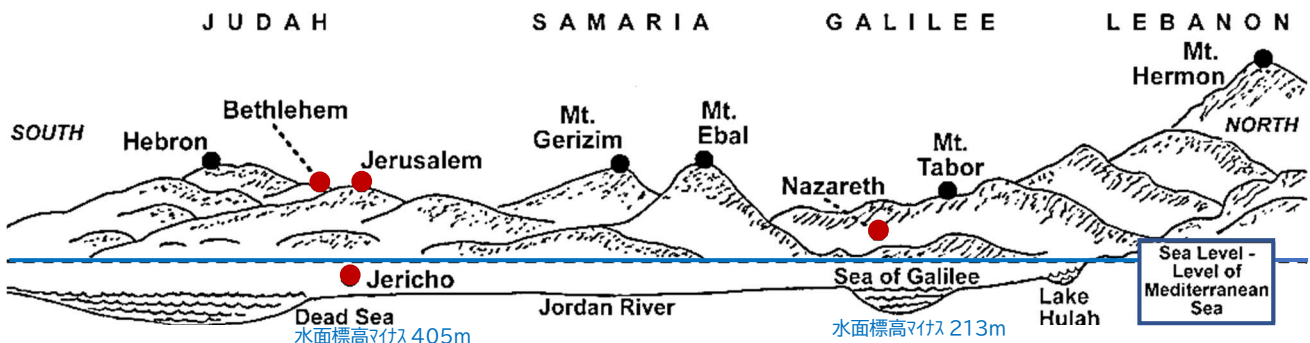


タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 8 / 聖句等の総数 33250 <アバリム>8個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: アバリム]
K 民数記	21:11 オボトを旅立つと、モアブの東側の荒れ野にあるイエ・アバリムに宿営した。	
K 民数記	27:12 主はまたモーセに言われた。「このアバリム山に登り、わたしがイスラエルの人々に与えた土地を見渡しなさい。	
K 民数記	33:44 彼らはオボトを出発して、モアブの国境にあるイエ・アバリムに宿営し、	
K 民数記	33:45 イエ・アバリムを出発して、ガドのディボンに宿営し、	
K 民数記	33:47 彼らはアルモン・ディブラタイムを出発して、 <u>ネボの手前</u> にあるアバリム山に宿営し、	
K 民数記	33:48 アバリム山を出発して、エリコに近いヨルダン川の対岸にあるモアブの平野に宿営した。	
K 申命記	32:49 「エリコに向かいにあるモアブ領のアバリム山地のネボ山に登り、わたしがイスラエルの人々に所有地として与えるカナンの土地を見渡しなさい。	
K エレミヤ書	22:20 お前はレバノンに登って叫び／バシャンで声をあげ／アバリムから叫ぶがよい。お前の愛人たちは皆、打ち破られる。	

▲シェフェル山

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 2 / 聖句等の総数 33250 <シェフェル山>2個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: シェフェル山]
K 民数記	33:23 ケヘラタを出発して、シェフェル山に宿営した。	
K 民数記	33:24 彼らはシェフェル山を出発して、ハラダに宿営し、	

【参考】 東側から見たイスラエル(南から北へ)地形イメージ



### ▲レバノン山（山脈）

レバノン山脈（Jebel Lubnān）は、レバノンの中央を南北に走る全長約160kmの山脈。中東であるのにも関わらず、標高3,000m級の山々には雪が積もるため、アラム語で「白」を表すラバンがレバノンの語源となった。最高峰はカーネット・アッサウダー山の3,088mである。東側にペガーと言われるヨルダン地溝帯が走り、その東側にアンチレバノン山脈、ヘルモン山脈が連なる。山脈の西側は東側よりも降水量が多い。



出典：(左)毎日新聞/(右)写真でイスラーム

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 7 / 聖句等の総数 33250 <レバノン山>7個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: レバノン山]
K 申命記	1:7 向きを変えて出発し、アモリ人の山地に行き、更にその近隣地方、すなわちアラバ、山地、シェフェラ、ネゲブ、沿岸地方に行きなさい。更にカナン人の土地、レバノン山、大河ユーフラテスにまで行きなさい。	
K 申命記	3:25 どうか、わたしにも渡って行かせ、ヨルダン川の向こうの良い土地、美しい山、またレバノン山を見せてください。」	
K 申命記	11:24 あなたたちが足の裏で踏み込む所は、すべて、あなたたちのものとなり、荒れ野からレバノン山まで、ユーフラテス川から西の海まであなたたちの領地となる。	
K ヨシュア記	1:4 荒れ野からレバノン山を越え、あの大河ユーフラテスまで、ヘト人の全地を含み、太陽の沈む大海に至るまでが、あなたたちの領土となる。	
K ヨシュア記	9:1 ヨルダン川の西側の山地、シェフェラ、レバノン山のふもとに至る大海の沿岸地方に住むヘト人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の王たちは皆、このことを伝え聞くと、	
K ヨシュア記	13:5 更にゲバル人の土地、ヘルモン山のふもとバアル・ガドからレボ・ハマトに至るレバノン山東部全域、	
K ヨシュア記	13:6 およびレバノン山からミスレフォト・マイムに至る山地の全住民、すべてのシドン人。わたしは、イスラエルの人々のために、彼らすべてを追い払う。あなたはただ、わたしの命じたとおり、それをイスラエルの嗣業の土地として分けなさい。	

### ▲ガアシュ山

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 2 / 聖句等の総数 33250 <ガアシュ山>2個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: ガアシュ山]
K ヨシュア記	24:30 エフライムの山地にある彼の嗣業の土地ティムナト・セラに葬られた。それはガアシュ山の北にある。	
K 士師記	2:9 エフライムの山地にある彼の嗣業の土地ティムナト・ヘレスに葬られた。それはガアシュ山の北にある。	

### ▲パランの山(パランの荒れ野を含む)

パランの山はシナイ山を指していると思われる。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 2 / 聖句等の総数 33250 ]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
K 申命記	33:2 主はシナイより来り／セイルから人々の上に輝き昇り／パランの山から顕現される。主は千よらずの聖なる者を従えて来られる。その右の手には燃える炎がある。	
K ハバクク書	3:3 神はテマンから／聖なる方はパランの山から来られる。[セラ／その威厳は天を覆い／威光は地に満ちる。	

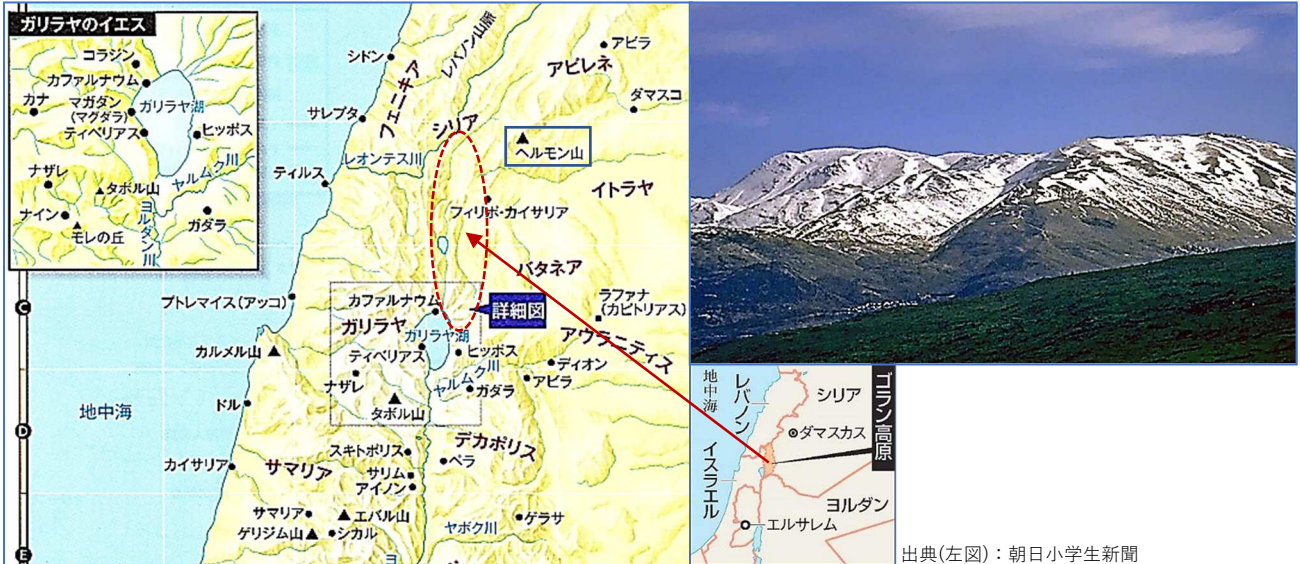
### ▲ヘルモン山（シャイフ山）

ヘルモン山：ヘブライ語（シャイフ山：アラビア語）

レバノンとシリアの国境にあるアンチレバノン山脈の最高峰で、最高点の標高は2,814mである。

最高点はシリアが支配しているが、南部の稜線にあたるゴラン高原は1967年の第三次中東戦争以降、イスラエルの支配下にある（イスラエルを除き、国際連合およびほとんどの国際連合加盟国はイスラエル領であることを認めていない）。

ヘルモン山を、シドンの住人はシルヨン、アモリ人はセニルと呼んだ（申命記3：9、雅歌4：8他）。



出典(左図)：朝日小学生新聞

タイトル(書名)	章：節 聖句 [検索対象総数：11 / 聖句等の総数 33250 (ヘルモン山)11個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：ヘルモン山]
K 申命記	3:8 我々はそのとき、アルノン川からヘルモン山に至るヨルダン川東岸の二人のアモリ人の王の領土を手中に収めた。――	
K 申命記	3:9 ヘルモン山のことをシドンの住民はシルヨンと呼び、アモリ人はセニルと呼んでいる。――	
K 申命記	4:48 それは、アルノン川沿いのアロエルからシオンつまりヘルモン山に及び、	
K ヨシュア記	11:3 彼らは、東西両カナン人、アモリ人、ヘト人、ペリジ人、山地のエブス人、ヘルモン山のふもとと、ミツパの地に住むヒビ人であった。	
K ヨシュア記	11:17 すなわちセイル途上にあるハラク山から北はヘルモン山のふもとにあるレバノンの谷にあるバアル・ガドまでである。ヨシュアはこの地域の王たちを皆捕らえて打ち、処刑した。	
K ヨシュア記	12:1 イスラエルの人々がヨルダン川の向こう側、すなわち東側で征服し、占領した国々とその王は次のとおりである。アルノン川からヘルモン山まで、東アラバ全域。	
K ヨシュア記	12:5 その支配は、ヘルモン山、サルカ地方、ゲシュル人、マアカ人に国境を接するバシヤン全域およびヘシュボンの王シホンの国と境を接するギレアドの半分である。	
K ヨシュア記	13:5 更にゲバル人の土地、ヘルモン山のふもととバアル・ガドからレボ・ハマトに至るレバノン山東部全域、	
K ヨシュア記	13:11 ギレアド一帯、ゲシュル人とマアカ人の領土、ヘルモン山一帯、サルカまでのバシヤン全域、	
K 歴代誌上	5:23 マナセの半部族に属する者は、バシヤンからバアル・ヘルモン、セニル、ヘルモン山に至る地に住んだ。その数は多かった。	
K 詩編	89:13 北と南を創造されました。タボル山、ヘルモン山は／御名を喜び歌います。	

### ▲ピスガ山(ピスガの頂)

アバリム山脈の最高峰(710m)で、通常はネボ山を指す。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 8 / 聖句等の総数 33250 (ピスガ)8個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: ピスガ]
K 民数記	21:20 パモトからモアブの野にある谷へ、そして荒れ果てた地を見下ろすピスガの頂へと進んだ。	
K 民数記	23:14 バラクはバラムをピスガの頂の見晴らしのきく所に連れて行き、そこに七つの祭壇を築き、どの祭壇にも雄牛と雄羊をささげた。	
K 申命記	3:17 ヨルダン川とアラバが西境となった。それはキネレト湖から、その東にピスガ山のすそ野が延びてきてアラバの海、すなわち塩の海に及ぶ。	
K 申命記	3:27 ピスガの頂上に登り、東西南北を見渡すのだ。お前はこのヨルダン川を渡って行けないのだから、自分の目で見えておくれ。	
K 申命記	4:49 ヨルダン川の東側のアラバ全域を含み、ピスガ山のすそ野にあるアラバの海に達していた。	
K 申命記	34:1 モーセはモアブの平野からネボ山、すなわちエリコの向かいにあるピスガの山頂に登った。主はモーセに、すべての土地が見渡せるようにされた。ギレアドからダンまで、	
K ヨシヤ記	12:3 キネレト湖東岸からアラバの海、すなわち塩の海の東岸、ベト・エシモトを南下してピスガのすそ野の延びている地域に至る東アラバ地方である。	
K ヨシヤ記	13:20 ベト・ペオル、ピスガ山の傾斜地、ベト・エシモト、	

### ▲ネボ山

アバリム連山の主峰の1座(場所: Madaba, Jordan)で、標高 802/817m (参考: 六甲山 931m)。

ピスガの頂(標高 710m)は、ネボ山と同一もしくはその一部分とされる(申命記 32:49、34:1)。



※死海:水面の標高マイナス405m、最大水深433m

ネボ山の展望台に設置された展望板

※第一の月の十日に、民はヨルダン川から上がって、エリコの町の東の境にある【ギルガル】に宿営した(ヨシヤ記 4:19)。

※Madaba, Jordan マダバはヨルダン西部の都市でマダバ県の県都。首都アンマンの南西 35km、死海の東の台地上に位置する。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 2 / 聖句等の総数 33250 (ネボ山)2個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: ネボ山]
K 申命記	32:49 「エリコの向かいにあるモアブ嶺のアバリム山地のネボ山に登り、わたしがイスラエルの人々に所有地として与えるカナンの土地を見渡しなさい。	
K 申命記	34:1 モーセはモアブの平野からネボ山、すなわちエリコの向かいにあるピスガの山頂に登った。主はモーセに、すべての土地が見渡せるようにされた。ギレアドからダンまで、 ④ギレアド→聖書協会共同訳「ギレアド」	

### ▲ゲリジム山

パレスチナのサマリア地方にある山。標高 881m。  
モーセによって祝福の象徴とされ、サマリア人が聖地としている。



タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 4 / 聖句等の総数 33250 <ゲリジム山>4個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ゲリジム山]
K 申命記	11:29 あなたが入って得ようとしている土地に、あなたの神、主が導き入れられるとき、ゲリジム山に祝福を、エバル山に呪いを置きなさい。	
K 申命記	27:12 あなたたちがヨルダン川を渡ったならば、民を祝福するために、シメオン、レビ、ユダ、イサカル、ヨセフ、ベニヤミンはゲリジム山に立ち、	
K ヨシュア記	8:33 全イスラエルは、長老、役人、裁判人をはじめ、寄留者もその土地に生まれた者も、主の契約の箱を担ぐレビ人である祭司たちの前で、箱のこちら側とあちら側に、半分はゲリジム山の前に、他の半分はエバル山の前に立った。それは主の僕モーセがかつて命じたように、イスラエルの民を祝福するためであった。	
K 士師記	9:7 このことがヨタムに知らされると、彼はゲリジム山の頂に行き立ち、大声を張り上げて言った。「シケムの首長たちよ。わたしの言うことを聞いてください。そうすれば、神はあなたたちの言うことを聞き入れてくださる。	

### ▲エバル山

シケムの谷を挟んで、ゲリジム山と向かい合っている（上図参照）。  
海拔 938mで、山の間には主要道路が東西に走っている。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 <エバル山>5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : エバル山]
K 申命記	11:29 あなたが入って得ようとしている土地に、あなたの神、主が導き入れられるとき、ゲリジム山に祝福を、エバル山に呪いを置きなさい。	
K 申命記	27:4 あなたたちがヨルダン川を渡ったならば、わたしが今日命じるこれらの石をエバル山に立て、しっくいを塗り、	
K 申命記	27:13 また呪うために、ルベン、ガド、アシェル、ゼブルン、ダン、ナフタリはエバル山に立ちなさい。	
K ヨシュア記	8:30 そのころ、ヨシュアはエバル山にイスラエルの神、主のための祭壇を築いた。	
K ヨシュア記	8:33 全イスラエルは、長老、役人、裁判人をはじめ、寄留者もその土地に生まれた者も、主の契約の箱を担ぐレビ人である祭司たちの前で、箱のこちら側とあちら側に、半分はゲリジム山の前に、他の半分はエバル山の前に立った。それは主の僕モーセがかつて命じたように、イスラエルの民を祝福するためであった。	

### ▲モリヤ山

聖書「歴代誌下 3 : 1」のみに登場し、エルサレム付近にあったと言われている。

→歴代誌下 3 : 1

ソロモンはエルサレムのモリヤ山で、主の神殿の建築を始めた。そこは、主が父ダビデに御自身を現され、ダビデがあらかじめ準備しておいた所で、かつてエブス人オルナンの麦打ち場があった。ユダヤ人の伝承では、ソロモン王が神殿を建てたエルサレムの「シオン山」がモリヤであるとされている。

### ▲タボル山

ガリラヤ湖南端の西方約 20km の地点にあるおわん型の標高 575m の山で、ヘルモン山、カルメル山と並んでイスラエルでは有名な山である。  
→参照：前頁、ゲリジム山



タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 4 / 聖句等の総数 33250 <タボル山>4個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: タボル山]
K 士師記	4:6 さて、彼女は人を遣わして、ナフタリのケデシュからアビノアムの子バラクを呼び寄せて言った。「イスラエルの神、主がお命じになったではありませんか。『行け、ナフタリ人とゼブルン人一万を動員し、タボル山に集結させよ。』	
K 士師記	4:12 シセラはアビノアムの子バラクがタボル山に上ったとの知らせを受けると、	
K 士師記	4:14 デボラはバラクに言った。「立ちなさい。主が、シセラをあなたの手にお渡しになる日が来しました。主が、あなたに先立って出て行かれたではありませんか。」バラクは一万の兵を従え、タボル山を下った。	
K 詩編	89:13 北と南を創造されました。タボル山、ヘルモン山は／御名を喜び歌います。	

### ▲ギレアドの山 (山地)

ギレアド Gilead はヨルダン川東岸の北部地（ヤボク川とヤルムク川の間）で、牧草が豊かで牧羊に適した高地と穀物が育つ肥沃な低地からなる。→○  
ギレアドの山はヨルダン川西岸にあるイズレエル平野に近い場所を指す。→○  
→ギレアド (聖書協会共同訳)



タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 7 / 聖句等の総数 33250 <ギレアドの山>7個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: ギレアドの山]
K 創世記	31:21 ヤコブはこうして、すべての財産を持って逃げ出し、川を渡りギレアドの山地へ向かった。	
K 創世記	31:23 ラバンは一族を率いて、七日の道のりを追いかけて行き、ギレアドの山地でヤコブに追いついたが、	
K 創世記	31:25 ラバンがヤコブに追いついたとき、ヤコブは山の上に天幕を張っていたので、ラバンも一族と共にギレアドの山に天幕を張った。	
K 申命記	3:12 我々はそのとき、この地域を占領したが、わたしはアルノン川沿いにあるアロエルからギレアドの山地の半分、およびそこにある町々をルベン人とガド人に与えた。	
K 士師記	7:3 それゆえ今、民にこう呼びかけて聞かせよ。恐れおののいている者は皆帰り、ギレアドの山を去れ、と。」こうして民の中から二万二千人が帰り、一万人が残った。	
K 雅歌	4:1 恋人よ、あなたは美しい。あなたは美しく、その目は鳩のよう／ペールの奥にひそんでいる。髪はギレアドの山を駆け下る山羊の群れ。	
K エレミヤ書	50:19 そして、イスラエルを元の牧場に連れ戻す。イスラエルはカルメルとバシヤンで草をはみ、エフライムとギレアドの山で心ゆくまで食べる。	



### ▲ツアルモン山

シケムの北側のエバル山のことか???

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 2 / 聖句等の総数 33250 <ツアルモン山>2個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: ツアルモン山]
K 士師記	9:48 アビメレクは、自分の率いる民をすべて伴ってツアルモン山に登り、斧を手に取って木の枝を切り、持ち上げて肩に担い、自分の率いる民に向かってこう言った。「わたしが何をするのか、お前たちは見た。急いで、お前たちも同じようにせよ。」	
K 詩編	68:15 全能者が王たちを散らされるときノツアルモン山に雪が降るであろう。	

### ▲ギルボア山

イズレエル平野とベト・シャン平野を隔てる一連の山（標高 518m）でサマリア山脈につながっている。サウルは全軍をここに集結させてペリシテ人を迎え撃った。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 5 / 聖句等の総数 33250 <ギルボア山>5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: ギルボア山]
K サムエル記上	31:1 ペリシテ軍はイスラエルと戦い、イスラエル兵はペリシテ軍の前から逃げ去り、傷ついた兵士たちがギルボア山上で倒れた。	
K サムエル記上	31:8 翌日、戦死者からはぎ取ろうとやって来たペリシテ軍は、サウルとその三人の息子がギルボア山上に倒れているのを見つけた。	
K サムエル記下	1:6 この若者は答えた。「わたしはたまたまギルボア山にいました。そのとき、サウル王は槍にもたれかかっておられましたが、戦車と騎兵が王に迫っていました。」	
K 歴代誌上	10:1 ペリシテ軍がイスラエルに戦いを挑んできた。イスラエル兵はペリシテ軍の前から逃げ去り、傷ついた兵士たちがギルボア山上で倒れた。	
K 歴代誌上	10:8 翌日、戦死者からはぎ取ろうとやって来たペリシテ軍は、サウルとその息子がギルボア山上に倒れているのを見つけた。	



### ▲ツェマライム山

下記聖句のみに登場する。

→歴代誌下 13 : 4

アビヤは、エフライム山地のツェマライム山の上に立って言った。「ヤロブアムとイスラエルのすべての人々よ、わたしに耳を傾けよ。」

### ▲ミザルの山

下記聖句のみに登場する。

→詩編 42(-43) : 7

わたしの神よ。わたしの魂はうなだれて、あなたを思い起こす。ヨルダンの地から、ヘルモンとミザルの山から

## ▲オリーブ山



ヨルダン西岸地方、エルサレム旧市街東壁側のキドロンの谷をへだてた数個の峰から成る山。エルサレム神殿から約1 km東に位置している。その尾根は約4 kmにわたり、斜面に生育するオリーブからその名が付いた。頂上はエルサレムのどの地点よりも高く、エルサレムが一望できた。神殿よりも標高が約90~150m高いため、イエスが神殿にこれから起こることを弟子たちに話し、指し示すのに最高の場所であった。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 11 / 聖句等の総数 33250 (オリーブ山)12個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: オリーブ山]
K サムエル記下	15:30 ダビデは頭を覆い、はだしてオリーブ山の坂道を泣きながら上って行った。同行した兵士たちも皆、それぞれ頭を覆い、泣きながら上って行った。	
K ゼカリヤ書	14:4 その日、主は御足をもって／エルサレムの東にある／オリーブ山の上に立たれる。オリーブ山は東と西に半分に裂け／非常に大きな谷ができる。山の半分は北に退き、半分は南に退く。	
S マタイによる福音書	21:1 一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山沿いのベトファゲに来たとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、	
S マタイによる福音書	24:3 イエスがオリーブ山で座っておられると、弟子たちがやって来て、ひそかに言った。「おっしゃってください。そのことはいつ起こるのですか。また、あなたが来られて世の終わるときには、どんな徴があるのですか。」	
S マタイによる福音書	26:30 一同は賛美の歌をうたってから、オリーブ山へ出かけた。	
S マルコによる福音書	11:1 一行がエルサレムに近づいて、オリーブ山のふもとにあるベトファゲとベタニアにさしかかったとき、イエスは二人の弟子を使いに出そうとして、	
S マルコによる福音書	13:3 イエスがオリーブ山で神殿の方を向いて座っておられると、ペトロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレが、ひそかに尋ねた。	
S マルコによる福音書	14:26 一同は賛美の歌をうたってから、オリーブ山へ出かけた。	
S ルカによる福音書	19:37 イエスがオリーブ山の下り坂にさしかかられたとき、弟子の群れはこぞって、自分の見たあらゆる奇跡のことで喜び、声高らかに神を賛美し始めた。	
S ルカによる福音書	22:39 イエスがそこを出て、いつものようにオリーブ山に行かれると、弟子たちも従った。	
S ヨハネによる福音書	8:1 イエスはオリーブ山へ行かれた。	

## ▲バシヤンの山

バシヤンはガリラヤ湖の東方、ヤルムク川の中下流の肥沃で広大な平野であるが山の所在は不明である。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 2 / 聖句等の総数 33250 (バシヤンの山)3個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: バシヤンの山]
K 詩編	68:16 神々しい山、バシヤンの山／峰を連ねた山、バシヤンの山	
K 詩編	68:23 主は言われる。「バシヤンの山からわたしは連れ帰ろう。海の深い底から連れ帰ろう。」	

### ▲カルメル山

イスラエル北部のハイファ地区ハイファに南東約 8 kmに所在する山（標高 525.4m）であり、南北 39km にわたって広がる丘陵地である（参照：ギルボア山地図）。名は「園」の意味。山中には、多くの洞窟が見つかっている。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 5 / 聖句等の総数 33250 (カルメル山)5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: カルメル山]
K 列王記上	18:19 今イスラエルのすべての人々を、イゼベルの食卓に着く四百五十人のバアルの預言者、四百人のアシェラの預言者と共に、カルメル山に集め、わたしの前に出さうように使いを送っていただきたい。」	
K 列王記上	18:20 アハブはイスラエルのすべての人々に使いを送り、預言者たちをカルメル山に集めた。	
K 列王記下	2:25 エリシャはそこからカルメル山に行き、そこからサマリアに帰った。	
K 列王記下	4:25 こうして彼女は出かけ、カルメル山にいる神の人のもとに来た。神の人は遠くから彼女を見て、従者ゲハジに言った。「見よ、あのシュネムの婦人だ。」	
K エレミヤ書	46:18 「わたしは生きている」と／その御名を万軍の主と呼ばれる王は言われる。タボルが山々の間にあるように／カルメル山が海辺にそびえているように／彼は確かに来る。	

### ▲シオンの山

イスラエル・エルサレム旧市街の南西隅にある丘（標高 765m）で、一般的には古代エルサレムの西側の丘の事を意味している。広義に「イスラエルの地」の意で使われる事もある。



この丘には多数の墓地や教会が存在しており、アルメニア人やユダヤ人が多く居住する地域である。また、ダビデ王の墓がこの丘の山頂にあり、そこに「最後の晩餐」が持たれたといわれる「上の部屋」も存在している。→PDF ファイル No. 816



### ▲ミルラの山

下記聖句のみに登場する。

→雅歌 4 : 6

夕べの風が騒ぎ、影が闇にまぎれる前に／ミルラの山に登ろう、乳香の丘にわたしは登ろう。

### ▲ペラツィム山

下記聖句のみに登場する。

→イザヤ書 28 : 21

主はペラツィム山のときのように立ち上がり／ギブオン谷のときのように憤られる。それは御業を果たされるため。しかし、その御業は未知のもの。また、働きをされるため。しかし、その働きは敵意あるもの。

### ▲エフライムの山

エフライムの山地はエルサレムより北の中央山地（サマリア山地とも呼ばれる）でカナン征服後、エフライム族に与えられた地域である。名は、イスラエルの十二部族の内、ヨセフの子エフライムに由来する。  
→PDF ファイル No. 817 エフライムの山



### ▲セイル山

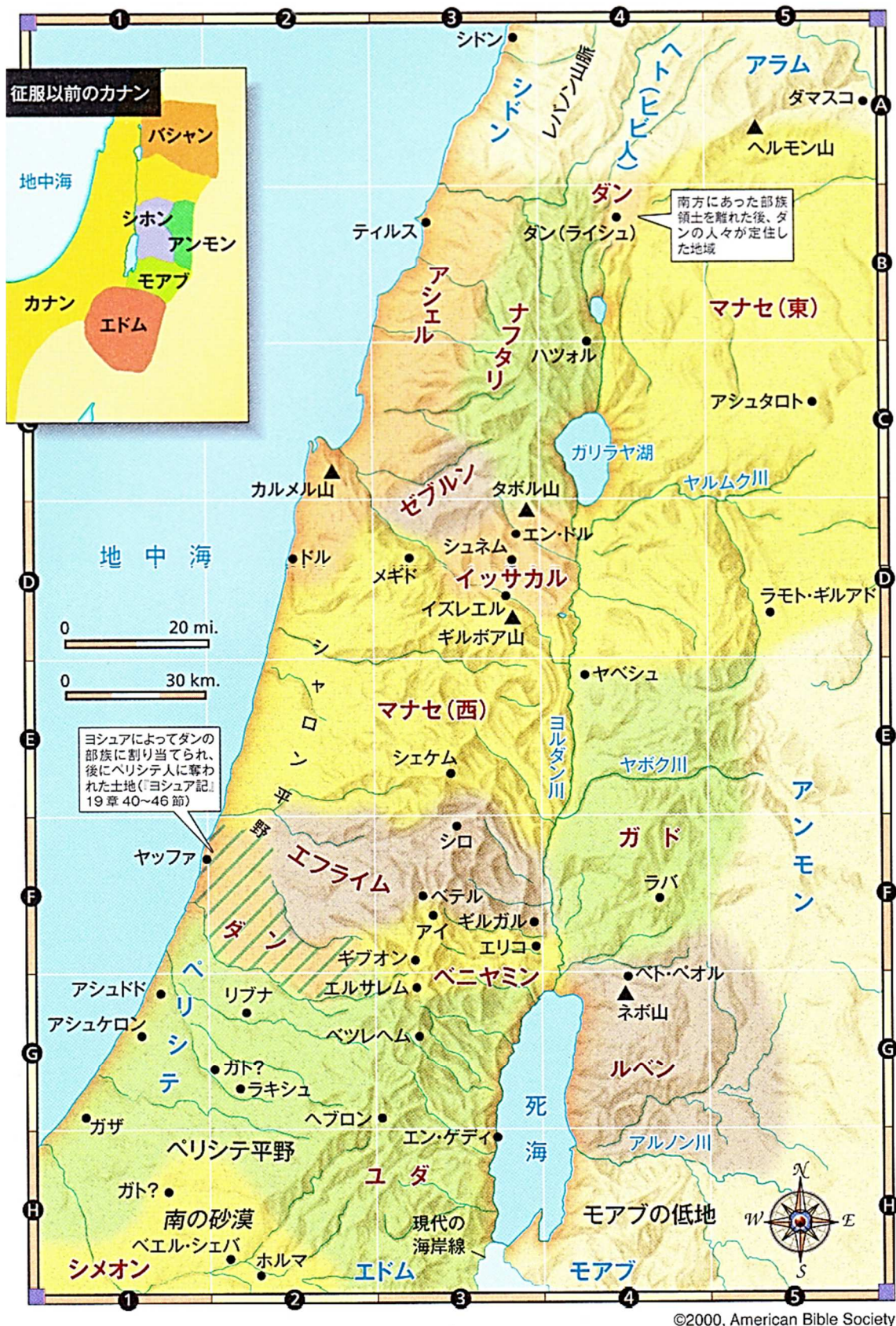
エドム人が住んでいた死海の南から東にかけての山地で、エドムの別名ともされる。エドム人はバビロニア軍に敗れたユダに侵入して土地を奪おうとした（エゼキエル書 35：10）。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数：4 / 聖句等の総数 33250 <セイル山>4個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙：セイル山]
K エゼキエル書	35:2 「人の子よ、顔をセイル山に向け、それに向かって預言し、	
K エゼキエル書	35:3 彼に語りなさい。主なる神はこう言われる。セイル山よ、わたしはお前に立ち向かう。わたしはお前に向かって手を伸ばし、お前を荒れ果てた廃虚とする。	
K エゼキエル書	35:7 わたしはセイル山を荒れ果てた廃虚とし、行き来する者がないようにする。	
K エゼキエル書	35:15 お前がイスラエルの家の嗣業の荒れ果てたのを喜んだように、わたしもお前に同じようにする。セイル山よ、エドムの全地よ、お前は荒れ地となる。そのとき、彼らはわたしが主であることを知るようになる。」	

### 関連資料ファイル

- ☑ 812 聖書に登場する「山」(聖句)
- ☑ 813 シナイ山(解説) ← ☑ 530
- ☑ 814 シナイの山(聖句)
- ☑ 815 シナイ山(聖句)
- ☑ 816 シオンの山(聖句)
- ☑ 817 エフライムの山(聖句)

カナンの分割(BC1200~1030)



出典 (地図) : American Bible Society (出典記載のない地図等)

